

京都大原に生きた画仙人

# 小松均展

—自然をまなざす

見えるのは、  
個性か、気迫か、魂か

開館時間 9時30分～17時30分（入館は17時まで）  
休館日 毎週月曜日（但し5月5日、5月6日は開館、5月7日は振替休館）  
入館料 一般1200円 中・高校生700円 小学生400円

※20名以上の団体は各1000円引き ※小・中学生は毎週土曜日無料  
※小・中学校が授業の一環として利用する場合は無料 ※お着物で来館の方は半額  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付添1名は半額（要手帳提示）

前売券 一般1000円 プレイガイド・水野美術館（3月23日まで）セブンイレブン（4月4日まで）

主催 水野美術館 信濃毎日新聞社、SBC信越放送 企画協力 株式会社アートワン

2025.

4.5 SAT >>> 5.25 SUN

Hitoshi KOMATSU:  
The Nature of Kyoto's Ohara  
Through the Gaze of the Artist-Hermit

 水野美術館

〒380-0928 長野市若里 6-2-20  
Tel 026-229-6333 Fax 026-229-6311  
<https://mizuno-museum.jp>

〈牛図 さみだれ〉部分 昭和9(1934)年 個人蔵

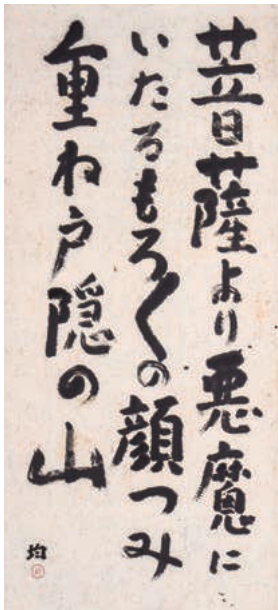


《牛図 さみだれ》昭和9(1934)年



《夕焼ノ山》昭和50年代

《菩薩より悪魔にいたるもろもの顔つみ重なる戸隠の山》昭和40年代



本展では、小松に魅せられた一人の人物が収集したコレクションの中から、大原や最上川、戸隠の風景、牛や鯉、牡丹といった動植物など、約120点の作品を紹介いたします。目に映る自然のかたちを超え、その精神までも描き尽くそうとした「小松均のまなざし」をどうぞご体感ください。

白髭をたくわえた風貌で、自給自足の生活を続けながら制作に打ち込んだ画仙人・小松均(1902・1989)。山形県に生まれた小松は、大正9(1920)年に画家を志して上京。大正14(1925)年には京都に移って土田麦僊に学び、国画創作協会展に出品を重ねます。そして、昭和21(1946)年の院展では日本美術院賞を受賞、同人に推挙されました。また、昭和初期には、徹底した写実による水墨表現を模索します。その後発表した、力強い墨線によるパノラマ風の画面は、自身の画業を代表するものとなりました。一方で小松は、半生を過ごした京都大原における四季の自然、身近な生き物や植物なども描いています。これらの作品からは、対象への真摯な眼差しや日々の生活の機微がありありと伝わることでしよう。

また、昭和初期には、徹底した写実による水墨表現を模索します。その後発表した、力強い墨線によるパノラマ風の画面は、自身の画業を代表するものとなりました。一方で小松は、半生を過ごした京都大原における四季の自然、身近な生き物や植物なども描いています。これらの作品からは、対象への真摯な眼差しや日々の生活の機微がありありと伝わることでしよう。

白髭をたくわえた風貌で、自給自足の生活を続けながら制作に打ち込んだ画仙人・小松均(1902・1989)。山形県に生まれた小松は、大正9(1920)年に画家を志して上京。大正14(1925)年には京都に移って土田麦僊に学び、国画創作協会展に出品を重ねます。そして、昭和21(1946)年の院展では日本美術院賞を受賞、同人に推挙されました。また、昭和初期には、徹底した写実による水墨表現を模索します。その後発表した、力強い墨線によるパノラマ風の画面は、自身の画業を代表するものとなりました。一方で小松は、半生を過ごした京都大原における四季の自然、身近な生き物や植物なども描いています。これらの作品からは、対象への真摯な眼差しや日々の生活の機微がありありと伝わることでしよう。

# 京都 大原に生きた画仙人 小松均展

— 自然をまなざす —



《大原女》昭和51(1976)年頃



《牡丹図》昭和49(1974)年頃



《人魚図》制作年不詳



《戸隠》昭和51(1976)年頃 すべて個人蔵

## イベント

※各回とも申込不要、参加無料(要当日有効の入館券)

### 特別ギャラリートーク

小松均に造詣の深い特別講師をお招きし、展示室を巡りながらお話しいたします。

- 日時:4月12日(土)14:00~ ●場所:展示室
- 講師:岡部信幸(山形美術館 副館長兼学芸課長/本展監修者)

### 学芸員によるギャラリートーク

- 日時:4月6日(日)10:00~、5月10日(土)14:00~ ●場所:展示室

### 交通のご案内

#### バスを利用の場合

JR長野駅下車、  
【長電バス】(平日のみ)  
東口から「日赤・水野美術館行き」  
乗車約10分「水野美術館」下車すぐ  
【アルピコバス】  
善光寺口から「大塚南行き」「松岡行き」  
乗車約15分  
(平日)「水野美術館前」下車すぐ  
(土日祝)「ビッグハット」下車、徒歩約5分  
※詳細は各交通会社へお問い合わせください。

#### 車を利用の場合【無料駐車場70台】

上信越自動車道「長野インター」から約15分

Facebook & X (旧 Twitter) 随時更新中!

次回展 水野コレクション 眺めを辿って 会期:2025年6月7日(土)~7月21日(月・祝)

水野美術館 ZENKOJIDAIARA ARTLINE 善光寺平アートライン 入館料 割引券 100円引 ※会期中1枚につき1名様のみ有効 ※他の割引券との併用はできません